

# 手指衛生の徹底で感染ゼロ

重要な・手洗い・手指消毒・ハンドケア

院内感染を防ぐ第一歩として、徹底した手指衛生を行うための講習会が2月21日、城西病院レストラン「ニコキッチン」で開かれました。達生堂グループの城西病院、ヒューマンハウス、すばるの職員約80人が参加し、手指衛生の重要さと正しい手洗いなどについて学びました。引き続き、15人が実際に手洗いの効果を目で確認することができるローションを使った手洗いの実技講習を受け、手洗いの大切さを再認識しました。

この講習は、感染対策委員会の感染対策研修会として開かれ、医療衛生用品などを扱う東京サラヤの小池努医専2課課長を講師に招いて開催しました。

小池課長は、接触感染、空気感染、飛沫感染について解説し、「医療現場では接触感染が最も多い」と指摘。手指消毒を怠ったことが医療訴訟で過失認定され、多額の賠償金支払いの判決が出された例などを紹介しました。

手指衛生は、目に見える汚れがある場合は石鹸と流水で洗い、目に見える汚れがない場合はアルコール消毒剤で手指を消毒するという手順を紹介。洗うことによって手が荒れた場合、乾燥した皮膚が剥がれたり、皮膚のバリアが弱くなり感染する危険性が高まるとともに、荒れた皮膚のために手指衛生がおろそかになるケースもあることから、手荒れを防ぐためのハンドケアの大切さも強調しました。

引き続き、手洗いの効果を紫外線で確認できるローションを使い、手指衛生の実技に移りました。

ローションは皮膚に強力に付着し、簡単には落ちないために徹底した手洗いを体験し、紫外線で手洗いの効果を確認していました。

平成29年2月22日

